

エビデンス共創機構主催「学部生論文コンクール」

NFLにおけるチームの勝敗が本拠地での ヘイトクライムに与える影響*

○○○○ *

February 15, 2024

Abstract

2016年ごろからヘイトクライムの検挙件数は増加の一途を辿っている。では、偏見は何故大きく/小さくなるのだろうか？ 本稿ではアメリカを舞台に、NFL(アメリカンフットボールのプロリーグ)のチームの勝敗が、翌週の本拠地のヘイトクライム発生確率に与える影響を分析した。その結果、ライバルマッチに敗北した週は、勝利した週に比べて翌週の本拠地でのヘイトクライム発生確率が0.2%ポイント(8%)高い事がわかった。この効果は対黒人の犯罪に集中しており、その他の人種や宗教、性的指向に対するそれには有意な影響をもたらさない。NFLプレイヤーの70%が黒人であることを考慮すると、これは接触仮説に関する最近のレビューと整合的である。また追加の分析により、この効果は「勝利時の減少」ではなく「敗北時の増加」によるものである事が示唆された。つまり、民衆はチームの敗北を黒人のせいにする傾向にあるが、勝利を黒人のおかげとは考えないのである。本研究は人気スポーツにおける試合後の警備体制及び近年のNFLの「外国人選手枠」増加の流れに対する重要なインプリケーションを持つ。

Keyword : ヘイトクライム, アメリカンフットボール, Parasocial Contact Hypothesis

¹本稿はエビデンス共創機構様主催の学部生論文コンクール応募用に作成されたものである。本稿にあり得べき主張、誤りの一切の責任は筆者個人に帰する。

*